

○英國金物市況 『十一月下旬』

銑鐵 市況一般に強硬なり、今迄は何時反動を起して低落するやも料られさりしか、引續き直押しに押進める騰貴は、疑もなく需給の權衡に基づける確たる基礎ありての事なれば目先き低落の見込なし、殊にヘマタイト銑は一層強硬にて多量の取引行はれず、手合は何れも小額にして短期受渡のみなり、西海岸にては雜り物の時價百三十志を唱ふ同時に原料品の價格も亦た騰貴しつゝありて、上等ルビオは最近三十三志半乃至三十四志(テース河渡し)に達し、また骸炭も騰貴せり、尤も冶金用骸炭製造者申合せて製品の價格を制限することを決定せし由なれば、若しこれか事實となりて現はるゝ曉は價格昂騰の趨勢一時抑止せらるへし、現時銑鐵の在庫數量前年に比して頗る増加せり。

半成品 各種半成品は極めて手薄にて、公開市場に賣出さるゝもの明かに減少せり、稀に手合ありしを聞けば極めて高價なり、之れを以ても多數消費者か供給困難を感じ、僅か計りの量を入手するに非常の骨折をなしつゝあるを知るへし、尤も製作者は政府及民間より巨額の註文を引受け、之れにさへ應じ切れざる有様なれば、新規商談ありとて多額には引受くる能はざること勿論なり。

滿俺鐵 市況變化少なし、されと需要相應にありて生産費の點より考へて價格手堅し、印度鑽石は現今約二志二片

を唱へ、ブラジル物は三志六片を唱ふ、輸出制限令發布の當初に比すれば、輸出幾分不規則の度を減して相應に行はるゝか如し。米國よりの報知に據ればキューバより少なからざる滿俺鐵の著荷あり、且つ多量に鑽石を供給する方法つきたるを以て、市場幾分安靜を得たる模様なり。

亞鉛引鐵板 生産費増嵩せし爲め製品の價格再び手堅くなれり、現今ゲージ二十四番物一噸二十五磅なり、されと多數製造家は兎角賣惜み、中には賣氣ありて商談を開始するものあれとも、愈々成立して引渡を決行するもの殆ど無し、政府の使用高莫大にして國內産出高の大部分を占め、民間用及輸出向としては唯一小部分を殘存するに過ぎず。

鐵力板 鋼の引續き騰貴せると酸類の入手竝に勞力節減の困難なる等の事情により、本品の市況再び鞏固となり、最近二十志九片にて取引ありしも、現今製造者側にては二十一志の唱値を維持し居れり。

軌條 其後暫くの間は九磅二志六片より九磅五志までの値に落附き居りしか、遂に市場の大勢に伴ひて昂騰し、重目物は九磅十志乃至九磅十五志を唱ふるに至れり、目下多量の註文あり、即ちグレートイースタン鐵道より八十五封度物九十五封度物取雜せ八千噸、軍事局より七十五磅物六千噸、佛國より七十封度物一萬三千噸、錫蘭政府より千噸等なり、此外愛蘭のミッドランド、グレートウエスターン鐵道會社の六千噸の註文ありしか、結果如何なりしやを

詳にせず、尙ほ聞く所に據れば、佛國より五千噸の註文は米國に振向けられたる様子なるか、米國にても軌條取引増嵩して相場頻りに奔騰せり、シカゴ北西鐵道は四萬噸の契約を出たし、ロックアイランド線の註文取も亦た四萬噸を引受けたり、尙ほ佛國にては十萬噸の註文を發せんとし、露西亞よりも未定なれとも八萬噸の註文あるか如し。

●其他の製鋼 概して變化なし、各種工業總て全力を擧げて製作に従事し、製造品の多數は價格非常に騰貴せり、されと是れ勞力の缺乏、政府の買上、其他種々の困難あるに原因するものにして、價格の騰貴によりて新たに取引を開始し、販路を擴張することも出來ず、利益を獲得する商品も見當らざるなり、米國よりの報道によれば非常に多量の鋼を歐洲に向け船積せんとし頻りに交渉中なりと、また鐵鋼組合の引受けたる註文にして未だ出來上らざる分は、十月末に於て其前月に比し八十五萬噸を増せりと云ふ、爲に米國の工業一般に活氣を添へし事疑ひなき事實なり。

各種金物の市價左の如し。

材料種別 一九一五年 一九一五年 一九一四年
十一月廿五日 十一月十八日 十一月廿六日

鐵鑛	ルピオ(ミッドルポロー)	三三、九片	三三、〇片	二〇、〇片
銑鐵	三號鑄物銑(ミッドル)	七三、〇	七〇、三	五一、六
	現金渡し	七二、一〇	六九、九	五一、四
	スコッチ現金渡し(ガラス)	七八、一〇・五	七五、三	五七、一・五

ベセマー雜せ物(西海岸)	一三〇、〇	一三〇、〇	六二、〇
冷風鑄(サウス、スタツフ)	一五〇、〇	一五〇、〇	一三二、六
物銑(オールドシャイヤー)	一五〇、〇	一五〇、〇	一三二、六

製品

印付(サウス、スタツフ)	一二、一〇、〇片	一二、一〇、〇片	九、〇、〇片
鋼鑄(オールドシャイヤー)	一二、一〇、〇片	一二、一〇、〇片	九、〇、〇片
普通鋼	一二、五、〇	一二、〇、〇	七、七、六
鋼軌條	九、二、六	九、二、六	六、七、六
亞鉛引鐵板	二五、〇、〇	二四、〇、〇	一一、二、六
造船用山形鋼(ミッドル)	九、二、六	九、二、六	七、五、〇
山形鋼(ガラスゴ)	一一、五、〇	一一、五、〇	六、二、六
造船用鐵板(ミッドル)	一一、〇、〇	一一、〇、〇	七、五、〇
同上(ガラスゴ)	一一、〇、〇	一一、〇、〇	七、一、〇
汽鑄用鐵板(ガラスゴ)	一一、一五、〇	一一、一五、〇	七、五、〇
鐵力板(ベセマー鋼サウ)	二〇、六、二、〇	二〇、六、二、〇	二〇、〇、一、二、〇、六

○内國金物商況 『十二月中』

鐵 先約の米國品も蘇西迂回物は未だ十二月の上旬迄は入荷せず、唯大陸越物のみ弗々入津するに至りたれとも、最初註文か控目なりしに加へ、船腹の不足さへ手傳ひ、輸入の數量小額に過ぎざるに、大手筋の註文依然として衰へす、在荷は愈々減退し、中にも丸棒鐵板の如きは、地方の散在物をも蒐集して僅に需要に應じつゝある有様にて、市價日に昂騰を告げて殆ど抵止する所なき趨勢となれる矢先、一日早々英鐵賣止の飛報に接せり、其賣止範圍は棒鐵・平鐵・生子板にして未だ薄板物に及はずといふ、隨て今回の賣止に遭遇せる鐵類は、品薄に基く原價の騰貴と、船腹不足